

生命と財産を守る

大地震を想定し 防災訓練

いつやってくるかわからないのが災害です。

今までに発生した災害で当町に大きな被害をもたらした代表的なものは、昭和46年9月の「秋雨前線並びに台風25号に関する異常気象」と昭和62年12月に発生した「千葉県東方沖地震」があります。

私たちは、このような災害がいつ発生しても、自分の生命と財産を守り、災害を最少限にいくとめる必要があります。

そこで、今回は9月2日に防災訓練を行い、災害について考えてみたいと思います。

町民の皆さんも、この趣旨を十分に理解いただき、積極的な参加をお願いします。

発災対応型による避難訓練を実施

近年の地震の発生状況をみると、国内では千葉県東方沖地震、伊豆の群発地震が、また、国外でもサンフランシスコ地震、イラン地震、マニラ地震が発生しています。

いずれの地震も予知なく発生し、多大な被害をもたらしています。

このような災害が発生しても最小限の被害にいくとめる必要があります。

そこで、今回も町民全員を対象とした防災訓練を行うことにしました。

また、今回の訓練は避難訓練に重点を置き、各避難所では、2次災害を未然に防ぐた

めの初期消火訓練、及び防災講習会を行いますので、大勢の皆さんの参加をお願いします。



昭和46年に発生した崖くずれ写真上 宝米明光院
写真下 県道横芝(丁)吉田線小川台地先